創造工学センターの歩み

年　度	で　き　ご　と	備　考
1996年度	「高度総合工学創造実験」試行	文部省創造教育推進経費
1997～2000年度	「高度総合工学創造実験」試行継続	文部省理工系教育推進経費
2001年度	４月「高度総合工学創造実験」正式科目　年２期開講 １月 創造工学センター発足	大学院総合工学科目 IB北棟10階
2002年度	創造・感性教育実習…機械加工学「ヤジロベ」製作（機械コース2年生） ３月「ものづくり公開講座」学内向けに開始	機械システムコース・材料加工学
2003年度	「創成型工学教育支援プログラム」が文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」に採択される 全国国立大学法人「ものづくり・創造性教育施設ネットワーク」を宇都宮大/千葉大/東北大/名大で設立	2006年度まで継続 第１回シンポジウムは宇都宮大で開催
2004年度	４月 国立大学法人化 ４月 全日本学生フォーミュラ・FEM活動支援開始 10月 機械工作室オープン利用始動	
2005年度	８月/３月「ものづくり市民公開講座」開始	
2006年度	11月22日「第４回ものづくり・創造性教育への取り組みに関するシンポジウム」を名大で開催	全国国立大学法人「ものづくり・創造性教育施設ネットワーク」
2007年度	４月「高度総合工学創造実験」年１期開講に変更 12月「留学生ものづくり公開講座」開始	工学研究科国際交流室共催
2008年度	３月 全日本学生フォーミュラ・FEM活動支援終了	機械システムコースの正規科目に移行
2009年度	８月「高大連携ものづくり公開講座」（高校生対象）を開始（「ものづくり市民公開講座」から改題），夏休み・春休みの２回開催	あいち科学技術教育推進協議会，SSHｽｰﾊﾟｰｻｲｴﾝｽﾊｲｽｸｰﾙ
2011年度	８月 名古屋大学創造工学センター10周年記念「問題発見型・総合型工学教育シンポジウム」開催	
2013年度	７月 *日米協働教育プログラム（JUACEP）研究インターンシップの一環として「ものづくり実習」を支援	*2011年度国際化拠点整備事業採択プログラム
2014年度	４月 機械工作室に技術指導専任職員を配置 「高大連携ものづくり公開講座」を夏休み8月と春休み3月の２期開催に	あいち科学技術教育推進協議会，SSH
2015年度	７月 JUACEPのものづくり実習を「留学生講座」としてセンターが主催して提供	
2018年度	３月 機械工作室オープン利用を高効率エネルギー変換施設に移転	
2020年度	「高度総合工学創造実験」が「イノベーション体験プロジェクト」に名称変更 新型コロナウイルス感染蔓延の影響により，オープン利用とものづくり講座を断続的に中止	
2021年度	１０月　新規ものづくりコース「プログラミングコース」をテスト開催 ２月　令和４年度学生ビジネスプランコンテスト アイデア賞を受賞 ３月　高大連携・ものづくり講座（高校生対象）を再開	
2022年度	補助金「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXを牽引する高度専門人材育成事業」の助成を受け，ディープラーニングシステム，３Dプリンター，大型モニタ等の設備を導入	
2023年度	３月　創造工学センター，EI創発工学館で活動開始	

高度総合工学創造実験

学生の工作機械利用支援

ものづくり講座 メタルバランサー

R4年度学生ビジネスプランコンテスト
アイデア賞

3Dプリンター